



ファイアアルパカ FireAlpacaで

Winでも
Macでも
無料!!

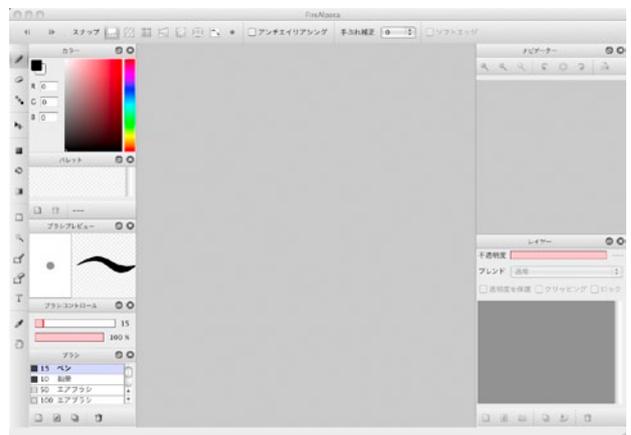
同人誌原稿を入稿してみよう!

**FireAlpaca (ファイアアルパカ) は
無料で使える Mac、Windows 両方対応の高性能ペイントソフトです。
サクサク動くファイアアルパカでお絵描きしたデータを
PICO ではそのまま入稿受付しちゃいます。**

株式会社ピージーエヌより完全無料で公開されている Fire Alpaca (ファイアアルパカ) は、高性能かつシンプルなペイント系グラフィックソフトで、これだけで同人誌原稿を作ることでもできます。

タブレット入力での筆圧、手ぶれ補正対応でなめらかな線を描けるブラシ、レイヤー機能、平行線や集中線のスナップ機能などを備えており、便利な機能がバージョンアップで続々追加されています。

画像の保存形式はファイアアルパカ独自の mdp 形式のほか、BMP/PNG/JPEG/PSD 形式が選べますが、PICO では必要な条件を守っていただければ mdp 形式そのままに入稿していただけます。



カラーモードについて

ファイアアルパカでは、RGB カラーと 8bit (グレースケール) の 2 種類のカラーモードを使用できます。CMYK には対応していないため、ファイアアルパカは PSD の画像を開けますが、CMYK の書類は表示されません。また、カラーマネジメントの機能を持ってはいないため、ファイアアルパカで作成した画像のご入稿では、お客様の RGB の見え方の環境の情報 (プロファイル) を受け取って忠実に再現できるとは限らず、RGB から印刷用の CMYK データへの変換は PICO おまかせとなります。

モノクロの原稿を作成する場合は、環境設定で編集モードを「プロフェッショナル」にしてから、レイヤーの設定を 8bit にしてください (書類の作成時に初期レイヤーを 8bit にする、レイヤーのメニューから変換を選んで 8bit にする等)。8bit のグレー状態のレイヤーはレイヤー表示の右下に黒い四角が表示されます。



原稿を作る準備はこれだけ! テンプレート(台紙)をご用意しています

同人誌の表紙・本文など、原稿のサイズ、解像度がセットされた入稿用のテンプレート(台紙)をご用意しています。仕上がり位置のガイドなどが記入されていますので、そちらを参考に原稿を作成した後、最終的にガイドのレイヤーは削除してからご入稿ください。

※ご自分で作成された別のファイルの画像に配置ガイドのレイヤーをコピーして移動することはしないでください。テンプレートのファイル側に描かれた画像を移動してください。

表紙テンプレート: B5用	カラー	DOWNLOAD
	A5用	カラー DOWNLOAD
本文テンプレート: B5用	モノクロ	DOWNLOAD
	カラー	DOWNLOAD
	A5用	モノクロ DOWNLOAD
	カラー	DOWNLOAD
ポストカードテンプレート:	カラー	DOWNLOAD

ファイアアルパカで表紙の原稿を作る

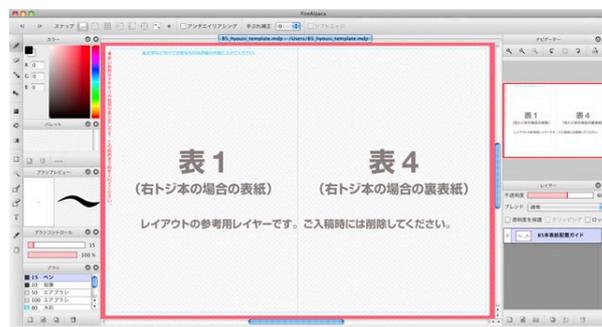
各サイズの表紙用のテンプレートの配置ガイドに従って、表紙・裏表紙を配置してください。一般的な漫画の右トジ本はガイドのとおり、横書きの本の場合は表1（表紙）が右、表4（裏表紙）が左側になります。

背幅を含めない時の本として仕上がる範囲が内側の白い長方形、製本の際に絵や背景が途中で切れてしまわないよう仕上げるために必要な「塗り足し」の範囲が外側の赤い部分です。

表1と表4の間が背幅になりますが、40ページ以下で背幅が2、3mmの本の場合は特に背を取らない方がズレなどのおそれはないでしょう。背幅が増えると、表1・表4はそれぞれ外側の赤い塗り足し範囲までずれることとなりますので、赤い範囲の端まで絵を入れて下さい。このテンプレートで約80ページ程度までの本の表紙に対応します。

B5本：幅 37.6 × 高さ 26.3cm / 350dpi

A5本：幅 30.8 × 高さ 21.6cm / 350dpi



※B5、A5以外の本の表紙を作成する場合は、【表1 + 表4 + 背幅】に天地左右に仕上がりが3mmを足したサイズの新規書類を作成してください。サイズがよく分からない場合はPICOまでお問合せください。

ファイアアルパカで本文の原稿を作る

各サイズの本文用のテンプレートの位置ガイドに従って、各ページ毎にファイルを作成してください。

モノクロ原稿の場合は、レイヤーは8bitで作業してください。

漫画原稿の場合は、台詞やタチキリ以外のコマは、点線が入っている【内枠】の範囲に収めた方が読みやすいでしょう。また、本を綴じた時に綴じ（ノド）側に配置される文字や絵も、内枠より外側だと見にくくなってきます。

また、本文原稿には必ずノンブル（ページ番号）を誌面に入れてください。ファイル番号だけでノンブルが入っていないと印刷された後ページ順が判るものがないので、製本する際に落丁や乱丁などの事故の元となってしまいます。

B5本：幅 18.8 × 高さ 26.3cm

A5本：幅 15.4 × 高さ 21.6cm

カラー原稿 350dpi / モノクロ原稿 600dpi



保存の形式について

原稿が完成したら、

1. 配置ガイドを削除し、残っていないことを確認する。
2. レイヤーを1枚に統合し、不透明度が100%になっていることを確認する。
3. 名前をつけて保存を選び、PSD形式形式またはmdp形式で保存する。
本文データの場合は、ファイル名をノンブルに即したページ番号にしてください（数字の桁は2桁か3桁に揃えてください）。

入稿するファイルがすべて揃っていることを確認してご入稿ください。

※レイヤーを統合してから保存すると、その後の編集はできなくなります。

編集可能なデータを残しておくためには、かならず上書きでなく「名前をつけて保存」を選んでください。

ファイル 編集 レイヤー

新規作成...
クリップボードから新規作成

開く...
最近使ったファイル

保存
名前をつけて保存...

ラスタライズ
印刷...

環境設定...
閉じる